

スマイル通信

語り継ごう in あきた慰霊祭

～あれから10年～

東日本大震災から10年目を迎える3月11日。

関係者の皆さんと共に祈りを捧げ、想いを分かち合う
ひとときを過ごしませんか。

日時:2021年3月11日(木)

13:00～15:30

会場:遊学舎

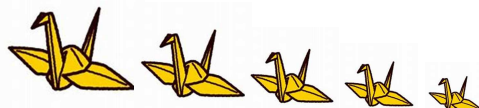
(秋田市上北手荒巻字堺切24-2)

主催:特定非営利活動法人あきたパートナーシップ

「折り鶴花火の展示」同時開催

明日へのエール

～みんなの想いで大輪の花火を咲かせよう～



たくさんの折り鶴が届きました!

総数
2,229羽



2月に開催した移動交流センターに参加し、参加
者と一緒に作成しました♪

2/19
(金)

横手・湯沢避難者交流サロン



2/28
(日)

交流サロン in 大仙市



3/11(木)～3/29(月)

上記期間、遊学舎事務室前
に展示します。

みなさまに折っていただきました心のこもった鶴で「大輪の花火」を完成させます。

3月11日の「折り鶴花火の展示」は、会議棟エントランスにて開催します。また、支援者から届きました応援メッセージも掲示します。大輪の花火と一緒に、ぜひご覧ください♪

避難者交流センター

新型コロナウイルス感染予防のためセンターでは御食事を遠慮いただいておりますのでご協力下さい。



新型コロナウイルス感染症予防対策のため臨時休館する場合は、ホームページに掲載しますので「秋田県被災者受入支援室」と検索いただくか、被災者受入支援室（０１８－８６０－４５０４）へ電話確認しご来場ください。

臨時休館のお知らせ

３月１１日（木）、４月１日（木）～６日（火）休館します。また、４月の土曜日は全日休館します。

※引き続き日曜日～火曜日は休館します。

おたがいさま掲示

「ゆずってください。」「ゆずります。」それが『おたがいさま掲示板』です。

避難者交流センター内に掲示しています。ご来場が難しい方は被災者受入支援室（０１８－８６０－４５０４）までご連絡ください。

ゆずってください（３月追加分）

- ◎炊飯器（３～５合炊き）
- ◎ベビー用品

イベントのお知らせ

秋田県避難者交流センター（秋田県生涯学習センター３Ｆ）

ちくちくの会

支援相談員と一緒にぞうきを縫いませんか？

皆さまに心を込めて作っていただいたぞうきは、被災３県などにお届けしています。どうぞお気軽にご参加ください。

令和３年 ３月 ４日（木）、１８日（木）、２５日（木）

午後１時～４時 お好きな時間にお越しください。



学習支援

小中学生対象とした学習支援を行います。教員免許を持つ相談員が、宿題の丸付けや家庭学習のサポートをします。

開催日時： 令和３年 ３月 ２７日（土） 午前１０時半～正午 午後１時半～午後３時

※新型コロナウイルス対策のため、開催時間を変更しています。

また、１２時～１３時までの時間は消毒・換気の時間とし閉館します。

持ち物： 宿題などの学習用具・筆記用具

※３密を避けるために定員があります。事前申込みをして下さい。

申込先： 秋田県被災者受入支援室 ０１８－８６０－４５０４



お茶っこタイムいいねが♪

※『いいねが♪』は秋田弁で「いいじゃない♪」を意味します。
好きなことをして過ごしましょう♪

【開催日時】令和３年３月１８日（木） 午後１時３０分～３時３０分

【参加料】無料 【サークル名】お茶っこタイム「いいねが♪」

3月 保健師相談会



秋田県避難者交流センターにて、保健師による『こころの寄り添い相談会』を開催しています。
相談内容は厳守しますので、安心してご利用ください。

保健師が
お待ちしております

皆さまが毎日を快適に過ごせるように、健康相談や子育てに関する相談などを行っています。その場で血圧測定もでき、生活の相談にも丁寧に応じます。

【開催日時】 令和3年 3月18日（木）午後1時～4時

【相談員】 在宅保健師（ゆずり葉の会）

※ 終了時間の30分前までにお越しください。

※ 静かにお話ししたい方には、個室をご用意します。

交流サロン(in 大仙市)

「あれから10年！これからも続くよ、みんなの輪」！

昨年度は、新型コロナの影響により開催できなかった「笑顔と元気でつながる輪」を、今年こそは実現しようと準備しています。申し込みについては、別紙のチラシを参照してください。
なお、感染状況によっては、中止となる場合もあります。あらかじめご了承ください。

【3月の交流サロンの日】

【日時】 令和3年 3月28日（日）

午前10時～午後3時

【場所】 地域交流センター「はびねす大仙」

【公演】 谷京子さん率いる「ぐるーぷ風」

の皆さんによる「読み聞かせ」

【参加費】 大人 500円（小学生以下無料）



平成31年 3月24日



「はびねす大仙」大仙市幸町 2-70
電話 0187-88-8722



連絡先

大仙フレンズ（事務担当；高橋） TEL 090-9670-2852

横手・湯沢避難者交流サロン

避難されてきた方同士、ふるさとへの思いを語り合ったり、また地域の支援サポーターから情報を得たり、県南区域で安心した生活を送るお手伝いをします。

3月は茶道体験とランチ交流会です。みなさまのご来場をお待ちしております。

【会場】 旭ふれあい館（横手市猪岡座水上91-2）

【開催日】 令和3年3月19日（金）午前10時～午後1時半

茶道体験・ランチ交流会



保健師による相談会も開催します！健康に不安なこと、保健師にご相談ください！

【お問合せ先】 事務局 秋田県南 NPO センター（担当 今） 〒013-0046 横手市神明町 1-9

TEL 0182-33-7002（毎週木曜日休館） FAX 0182-33-7038 メール konkon@biscuit.ocn.ne.jp

明日へのエール スポットライト

ゴルフクラブ職人の山田さんは、南相馬市でゴルフ工房を営業していましたが、被災し秋田市に家族と避難されてきました。その後、秋田市にある桜ゴルフ内でゴルフ工房を営業し再出発。2年前に家族は南相馬の自宅へ帰還し、家族と離れて仕事を続けてきましたが、昨年11月に工房を閉め、南相馬市の家族の元へ帰還することを決意しました。



山田雅彦さん（秋田市）
福島県南相馬市出身

秋田での10年間 どうでしたか？

気付けば10年経つのか…。あっという間でした。秋田に避難する前は、自宅隣の工房でひたすら仕事をし、家族と一緒に過ごす時間が少なかったが、秋田に来て一緒に過ごせる時間ができました。また、家族の協力もあり仕事や趣味のバンドをして沢山の出会いがありました。

秋田の工房を閉める今の想いは？

寂しいですね。年齢的にも体力が無くなってきたと感じるようになり、しょうが無いと思っています。



バンドを始めたきっかけは？

小学生の時、ベンチャーズに憧れたんです。譜面を見ず自分の耳で音を聴き、ギターでひたすら練習を重ね、演奏できる楽しさを覚え、コントラバスの音色に惹かれました。

南相馬市へ帰還したう？

家族が待ってます！家族と過ごす時間を大切にたいです。南相馬市の自宅隣にある工房と相馬市のゴルフガーデン内の工房で、のんびりと仕事を続けたいと思っています。

秋田での思い出は？

秋田県女子ゴルフ国体選手全員、それぞれの選手に合わせたゴルフクラブを作り上げたことです。自分が作ったゴルフクラブで国体出場したことに嬉しく思っています。また、秋田では音楽を通して繋がりができ、イベントやライブハウスなどで演奏できる機会が沢山あり、とても楽しく過ごしました。



あの日は間もなく秋田県へ避難。安心して過ごす支援室は訪問を行っていき、事業をしていご紹介します。県内に定住することができさまでエー

H23年11月オープン。当初は貸店舗での営業でしたが、その後北秋田市への定住を決め、自営のお店を建築しました。震災から10年。今のお気持ちを探ると、「10年この仕事ができただけ。頑張ったと改めて感じる。」と仰っていました。外観、内装がアジアチックな素敵なお店でした。店内では不定期にジャズのコンサートなどを開催し趣味の音楽も楽しんでいました♪

震災から10年、今のお気持ちはいかがですか？

この仕事を始めて11年で10年。0からスタートで、貸店舗を借り初め飲食業、数年後に自営の店を持てました。ここまで頑張ったなあ。石の上にも三年！だなと思います。

お店を始めるきっかけは？

津波ですべてを失い、仕事の負債も抱えました。ならば「自分が本当にやりたかったこと」にチャレンジする。と一大決心をしてチックタグズカフェを開業。多くの知人や友人が応援してくれたからこそ頑張れました！感謝です。

お店のオススメは？

♥ お昼のバスターランチ（3種から選択）♥
※取材時はジェノベーゼと豆乳のバスターを注文しました♪隠し味のスパイスが効いていて美味しかったです！！！独創的なメニューと美味しさに感謝しますよ～。

コロナ対策バッチリです！



Asian
Chick-tags cafe

chick-tags cafe（北秋田市） 深川忠輝さん
宮城県気仙沼市で被災し、北秋田で飲食店をオープン。

趣味のバンドやバイクも楽しみながら北秋田で定住しています。

お店をやっている楽しかったことは？

先日、支援学校の生徒さんのカフエ鍊成会の審査委員長をしました。コミュニケーション授業の講師もやり、人の力になれた事です。



故郷への想いを聞かせてください！

故郷へは兄夫婦がいます。復興に携われなかった負い目は感じています。帰郷すると、町にどんどん人が増えているのが分かります。復興のために頑張ってくれた人に感謝しています。
※取材ではたくさんの方への感謝の言葉がたくさんでした。感涙



好きな言葉

「人に楽しく」俳優武田真治さんの座右の銘なんですけど…笑。僕のモットーです！！
これからも楽しく生活していきたいです。

創作料理「さいかち」 大原唯嘉さん (にかほ市)宮城県気仙沼出身



創作料理
さいかち
SAKACHI de Cuisine Creative

「さいかち」シェフの大原さんは、震災前も気仙沼で結婚式場の料理長として腕を振るい、秋田に避難してからは「にかほ陣屋」(にかほ市金浦に2013年開店)の立ち上げに関わる。そこで料理長として尽力後、「今までお世話になった方々への恩返しをしたい」との思いで2018年11月に念願だった自分のお店をOPEN。大原さんのセンス光る美味しいお料理で好評を得ている。



お店の名前に込めた思いを聞かせてください

戦国の昔、宮城県北部から岩手県南部一帯を葛西家という一族が400年にわたり統治していたのですが、豊臣秀吉の手により滅ぼされ伊達政宗の所領となってしまいます。しかし家が滅亡した家臣達は再び立ち上がろうとします。それぞれ家臣は葛西家再興を祈願し「守護の木」として「さいかち」の木を落ち延びた先の門前に植えたんですよ。「さいかち」には「再起を図る」という意味があるんですよ。



大原さんの古里を思う気持ちが感じられますね。



このコロナ禍で思うことは？

昨年の11月で2周年となりましたが、コロナ禍は飲食店には厳しい状況でした。そんな中テイクアウトやケータリングなど工夫しながら、地元の素材の味を生かした料理を提供しています。今はまず「なんとかなんと耐える！」という気持ちでがんばっていますね。みなさんに、美味しいものを食べて、元気になっていただけたらと思っています。

2011.3.11.
10年。

された皆さまが、
せるよう被災者
活動や情報支援
た。今回は、県内
る避難者の方を
へ帰還された方や
た方、今後を決め
ない、すべての皆
を送ります。



相談員 達摩うんちや「おせち」をいただきましたが、味も見た目も楽しめるお料理で本当に元気をもらえました。店内も全室個室でとても落ち着ける空間なので、たくさんの方に、ゆったりとした時間、そしてこだわりの料理を「さいかち」さんで味わってほしいです。



「折り紙教室」講師 青木 福子さん (横手市)宮城県牡鹿郡女川町出身

“折り紙”との出会いは？

40代に女川で入院中、折り紙の深い世界観を知ることになった本「をる」を親友が送ってくれたんです。退院後も親友は本を送り続けてくれ、それをきっかけに折り紙の虜になってしまったのよ。大きな手術で3回入院して思ったことは「笑うこと・話すこと・好きなことをする。」これを続けていきたいなと。今、好きな“折り紙”で教室や個展を通し、たくさんの方の出会いを作れていて嬉しいです。

秋田県に避難後、趣味の“折り紙”を生かし教室の講師や、被災体験を語り継ぐ講演会、被災地支援など、横手市で地域に根ざしながら活躍している青木さん。取材中も次々と電話が。女川を離れても変わらない友人達との絆がある。「つながっていることが大事」と話す。「大切な人達を失った悲しみは癒えることはないけど、たくさんの方々からの支援のおかげで元気に暮らすことができている。人や物、“気持ち”のありがたさを実感したので、今度は返す側になりたいの」と日々たくさんの方の笑顔の中で活動している。

講演ではどんなことを伝えているのですか？

小学校・中学校などで自分の震災体験や感じたことを伝えています。仙北中学校では、自分も支えられた経験をもとに、支えになる友人を大切にしてほしいという思いを話しました。

元気になるためには心と体は切り離すことはできないので、心の栄養のために多くのいい縁があることはありがたいですね。

自己満足かもしれませんが、少しでも役に立つことがあれば、私にできることをしていきたいと思っています。



青木さんは今住む横手市金澤地区の、コミュニケーションの場ともなっている朝市で、女川の美味しい商品を届けている。故郷・女川への思いは忘れずに、住民同士の支え合いによる地域づくりにも貢献している。

被災後、秋田へ来て「柵の湯」でお世話になりましたが、そこで作品展を開催していただき、とても感謝しています。



全国避難者情報システムについてのお願い



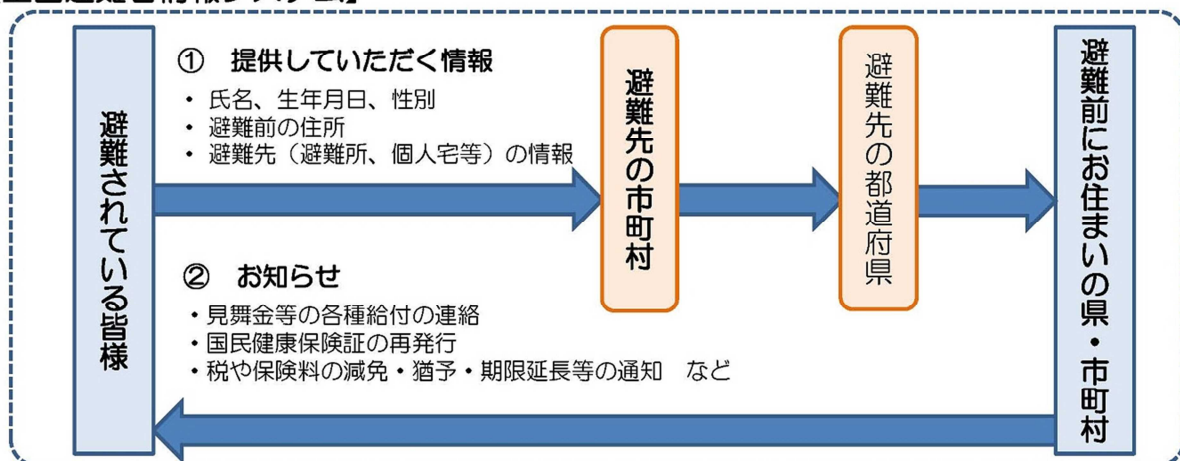
今一度ご確認をお願いいたします

今お住まいの市町村に届け出されている
「全国避難者情報システム」の情報に変更など
ございませんか？

「全国避難者情報システム」とは、避難された方から、避難先の市町村へご自身に関する情報を任意にご提供いただき、その情報を避難元の県や市町村へ提供することで、避難されている方へ様々な情報提供等を行うシステムです。

※この「スマイル通信」は提供された情報に基づき送付しています。

【全国避難者情報システム】



ご本人からの申し出が必要です

【連絡先市町村一覧】（※令和2年度現在）

□ 姓や住所、連絡先等が変わる

→ 避難先（現在お住まいの）市町村へ
「登録内容変更」の連絡をしてください。

□ 避難先の市町村が変わる

→ ① 今までお住まいだった市町村へ
「登録解除」の連絡をしてください。
② 新たな転居先の市町村へ
「新規登録」の連絡をしてください。

□ 避難を終了する

→ 登録している市町村へ
「登録解除」の連絡をしてください。

※ご不明な点などございましたら秋田県被災者受入支援室
(018-860-4504) までお問い合わせください。

市町村名	担当部署	電話番号
秋田市	総務部 防災安全対策課	018-888-5434
能代市	市民福祉部 福祉課	0185-89-2152
横手市	市民生活部 生活環境課	0182-35-4099
大館市	総務部 危機管理課	0186-43-7100
男鹿市	総務企画部 総務課	0185-24-9113
湯沢市	市民生活部 暮らしの相談課	0183-73-2115
鹿角市	総務部 総務課	0186-30-0299
由利本荘市	総務部 危機管理課	0184-24-6238
潟上市	総務部 総務課	018-853-5301
大仙市	総務部 総合防災課	0187-63-1111
北秋田市	総務部 総務課	0186-62-6602
にかほ市	総務部 防災課	0184-43-7504
仙北市	総務部 総務課	0187-43-1111
三種町	福祉課	0185-85-2190
八峰町	総務課 防災まちづくり室	0185-76-4666
美郷町	総務課	0187-84-1111
羽後町	総務課	0183-62-2111

よりそいホットラインでは、
全国に避難している方々への
専門回線を設けております。
電話番号は、
0120-279-338
ガイダンス8番フリーダイヤル
で10時～22時年中無休
で受付しております。
※よりそいホットラインは24時間
受付しておりますので、22時以降は、
ガイダンス1番をご利用ください。

よりそいホットラインの紹介



音声ガイダンスが
流れます。
相談したいことを
選んでください。

24時間 通話料無料
※電話番号をお確かめのうえ、おかけください

- 1 暮らしの中で困っていること、
気持ちや悩みを聞いてほしい方
- 2 外国語による相談 (Helpline for Foreigners)
英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、タガログ語、
スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語
- 3 性暴力、ドメスティックバイオレンスなど
女性の相談
- 4 性別や同性愛などに関わる相談
- 5 自殺を考えるほど思い悩んでいる方
- 8 被災者の方で困っている方

よりそいホットラインが運営する新しいみなさんのネット上の居場所をオープンしました。

<https://hisai.moyaroom.jp/>



チャットルームの参加方法

- ①新規登録をクリックしていただき、項目を入力し、確認を押してください。
- ②登録したメールアドレスに仮登録完了のお知らせが届くので、本登録手続きをしてください。
- ③本登録が完了すると、メールアドレスとパスワードを入力するとログインできます。メールアドレスは、登録時に入力したものです。パスワードは自由に設定してください。
- ④オープンしているルームに入ってみてください。チャットでのお話ができます。
- ⑤ルームオープンの予定も表示していますので、チェックして

被災者受入支援室からのお知らせ

みなさまへ

いつもスマイル通信をお読みいただき、ありがとうございます。

みなさまのご協力のおかげで、「折り鶴花火の展示」に向け、たくさんの折り鶴をお送りいただきました。心から感謝申し上げます。

3月11日には、みなさまからいただいた心のこもった折り鶴を壁一面に「大輪の花火」として飾れるよう、一羽一羽心をこめて花火に仕上げていくところです。

さて、この度、令和3年度の県の組織再編が行われ、企画振興部にありました「被災者受入支援室」は、震災当初から県庁内全体を挙げての被災地支援の窓口となっている総務部総務課内に、「被災者支援班」として新たに設置され、継続的に事業を進めていくこととなりました。組織の名称は変わりますが、これまでどおり、職員、支援相談員一同、みなさまの声に耳を傾けながら業務を行ってまいりますので引き続きよろしく願いいたします。

秋田県企画振興部 総合政策課 被災者受入支援室長
嘉 藤 佳奈子



日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
28 [避難者交流センター休館日]	3/1 [避難者交流センター休館日]	2 [避難者交流センター休館日]	3 菊地相談員	4 石川相談員	5 只野相談員	6 菊地相談員
				「ちくちくの会」 13:00~16:00 (避難者交流センター)		
7 [避難者交流センター休館日]	8 [避難者交流センター休館日]	9 [避難者交流センター休館日]	10 松田相談員	11 [避難者交流センター休館日]	12 石川相談員	13 松田相談員
				「語り継ごう in あきた慰霊祭〜あれから〜10年」 13:00~15:30 (遊学舎)		
14 [避難者交流センター休館日]	15 [避難者交流センター休館日]	16 [避難者交流センター休館日]	17 石川相談員	18 只野相談員	19 菊地相談員	20 春分の日
				「保健館による定期相談会」 「ちくちくの会」 13:00~16:00 「お茶っこタイムいっねが」 13:30~15:30 (避難者交流センター)	「横手・湯沢避難者交流サロン」 10:00~15:00 ※保健館相談会 (旭ふれあい館)	[避難者交流センター休館日]
21 [避難者交流センター休館日]	22 [避難者交流センター休館日]	23 [避難者交流センター休館日]	24 只野相談員	25 松田相談員	26 菊地相談員	27 石川相談員
				「ちくちくの会」 13:00~16:00 (避難者交流センター)		「学習支援」 10:00~12:00 13:30~15:00 (避難者交流センター)
28 「交流サロン in 大仙」 《読み聞かせイベント》 10:00~15:00 (はびねす大仙)	29 [避難者交流センター休館日]	30 [避難者交流センター休館日]	31 菊地相談員	4/1 [避難者交流センター休館日]	3 [避難者交流センター休館日]	4 [避難者交流センター休館日]

※4月6日（火）まで休館します

フリートーク

令和2年度は残りわずかとなりました。
3月は別れの季節であり、間もなく訪れる出会いの準備をする季節です♪
新型コロナウイルス感染症拡大で、出会いが少ないかもしれませんが、皆さまにとって素敵な巡り会いがありますようにと願っております(*^_^*)
私事ですが、7年間お世話になりました。
相談員として勤めさせていただき、とても大切な時間や想いを共有できたことに感謝しております。
私の大好きな言葉は「If you can dream it, you can do it」です。いつまでも夢見る少女でいたいです♪（松田）

次号スマイル通信
4月中旬発行予定



【スマイル通信】（秋田県内避難者支援情報紙）
令和 3年 3月 5日 第112号
秋田県企画振興部総合政策課被災者受入支援室
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
電話 018-860-4504
E-mail: hisaisya-shien@pref.akita.lg.jp